

◆ 2022 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO 法人 ジョイライフさやま
代表者：代表理事 久保田 慎三郎
URL : <https://joylife-sayama.info>

25A-02

1. 活動が必要とされた状況



持続可能な地域の未来を子どもたちに繋ぐことが大切です。在来の植物やそこに生きる生物多様性の成り立ちを学ぶ学習や体験を通して、新しい未来を作り出すことと水辺の整備清掃を交えた活動も大切であると感じています。子どもたちの目線から、自然を守ることの大切さを実感できる自然体験を行い、自分たちが果たす重要な役割や物語を創出していくことを楽しみに、自然豊かな環境を作りたいと考えています。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）



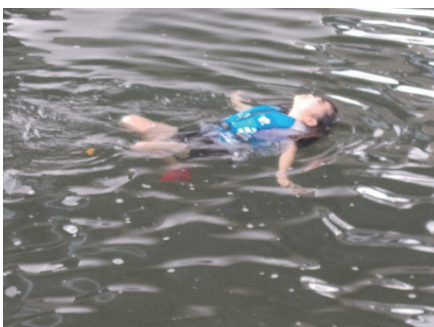
水辺林での体験は、NPO団体との協働で、外来種ハリエンジュが茂る林で行いました。「自然の森遊び」と称したイベントは、5月1日に総勢85名が参加し、間伐材の丸太切、薪割、火起こし、木工細工や木々の間を張り巡らしたロープ渡り・滑車滑り、土手のそり滑りなど、沢山の遊びを体験しました。子ども同士で話し合い、作り出す遊びは、新たな行動と知識を作り出し、ゴミのない自然を残していくことへの挑戦となっています。

3. 活動の成果



持続ある環境社会を目指して実績を積むことで、自然保全の一翼を担いました。環境活動に対する賞状や感謝状、表彰状、さらには横浜アリーナでのプレゼンなど、活動が評価される状況が生まれました。誰かが特別なことをしたわけでもなく、地域の人たちが少しずつ参画してくれたことで、目的が達成できたお陰だと感じています。山や川の自然と触れ合える機会を作り、次世代に豊かな自然を残していければと思うところです。

4. 今後に残された課題



カヤック体験の折、ライフジャケットを付けて救命訓練を受ける子どもたち。私どもが整備する入間川は、県内の河川の中で、多少なりとも川底の見える状況にはなっていますが、生物多様性は崩れてきている様子が見えがえ。この環境を少しでも改善できるように、これからも市の中央を流れる自然豊かな入間川の自然環境を保全するため、地域ぐるみの活動が必要と考えています。